

経営比較分析表

埼玉県 久喜市

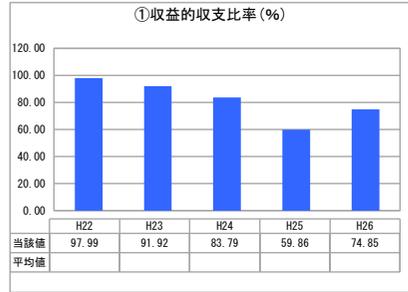
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	8.47	100.00	3,650

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
154,694	82.41	1,877.13
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
13,071	17.28	756.42

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 平成26年度全国平均

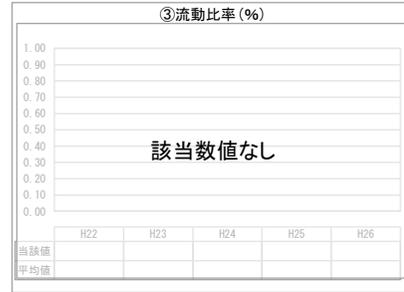
1. 経営の健全性・効率性



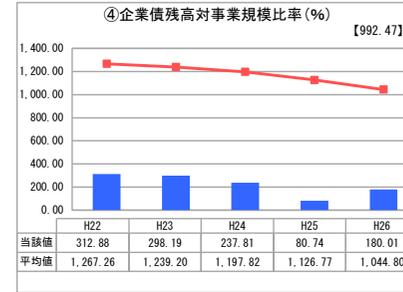
「単年度の収支」



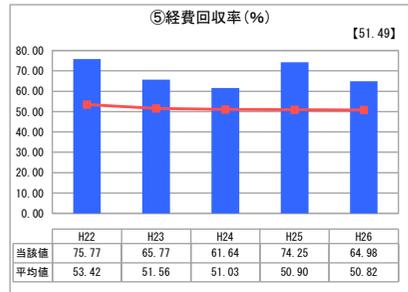
「累積欠損」



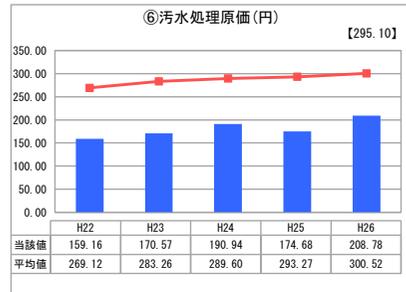
「支払能力」



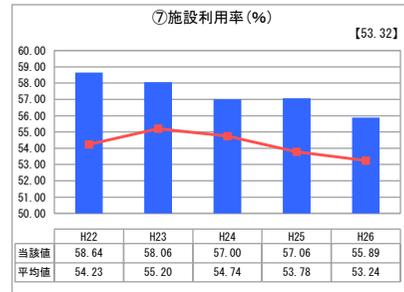
「債務残高」



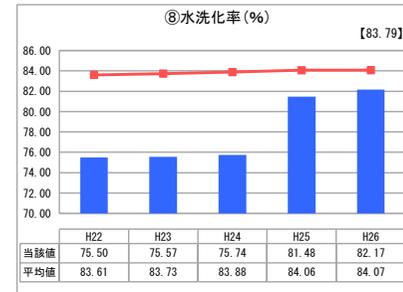
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

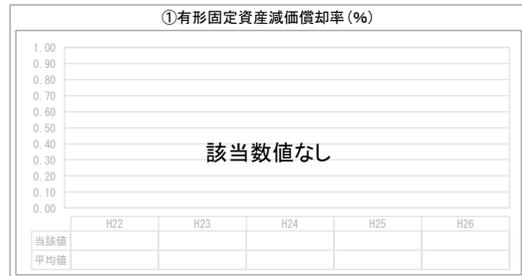


「施設の効率性」

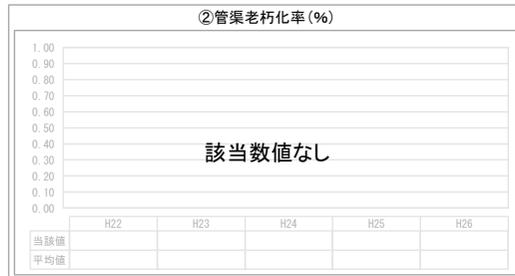


「使用料対象の捕捉」

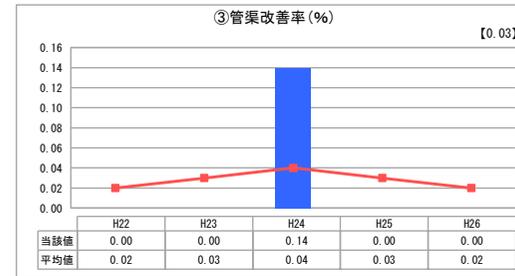
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
平成22年度から平成25年度までの3年間で38.13ポイント減少してしまいました。しかし、平成26年度については前年度と比較し、14.99ポイント上昇していることから改善傾向にあります。そのため、平成26年度に続き、財源の確保や更なる費用の削減に努めます。

④企業債残高対事業規模比率
全国平均及び類似団体平均と比較すると、低い値で抑えられていることがわかります。今後も企業債残高の抑制に努めます。

⑤経費回収率
平成26年度については前年度と比較し、9.27ポイント減少してしまいました。全国平均及び類似団体平均と比較すると、10ポイント以上高くなっていることがわかります。今後も適正値である100%を目指し、経営改善に努めます。

⑥汚水処理原価
全体的に見ると上昇傾向ではありますが、全国平均及び類似団体平均と比較すると90円以上低額に抑えられていることがわかります。今後は減少傾向となるよう、維持管理方法の見直し等を通して更なる費用の削減に取り組めます。

⑦施設利用率
全国平均及び類似団体平均と比較すると、2ポイント程度高くっており、処理施設が適切に稼働していることがわかります。今後は継続できるような維持管理及び更新を行っていきます。

⑧水洗化率
全国平均及び類似団体平均と比較すると1ポイント以上下回っており、適正値である100%を目指すべく、個別訪問等を通して接続促進に努めます。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率
平成25年度及び平成26年度については管渠の布設工事を行っていないことから数値が0となっており、修繕工事については常に行っています。また平成24年度時点では、全国平均及び類似団体平均と比較すると0.1ポイント以上高くなっており、他団体よりも比較的更新が進んでいると考えています。しかし、今後は処理施設の老朽化が見込まれることから、継続して適正な維持管理に努めます。

全体総括

久喜市の農業集落排水事業については、収益的収支比率が適正値である100%より低く推移していますが、平成26年度については改善傾向となっています。

収入については、使用料収入の減少により、他会計からの繰入金や企業債等の収入で賄っているため、接続促進や債権回収に取り組むことで使用料収入の適正な確保に努めていきます。

支出については、今後は修繕が必要となる処理施設が出てくるのが予想されます。そのため、企業債残高の抑制を目指したいところではありますが、投資計画や維持管理方法の見直し等による費用の削減を進めることで、更新工事等の財源も確保していかなければならないと考えています。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。